

講座名 在宅医療学講座

代表者	特任准教授	山中 崇
構成員	特任講師	大河内二郎
	特任助教	木棚 究、浜田将太
	特任研究員	片山成仁、黒川達也、水木麻衣子

【 講座概要 】

都市部を中心に外来通院が困難な高齢者が急増する日本において、地域包括ケアシステムの構築は国家的課題である。この地域包括ケアシステムで不可欠な要素である在宅医療に関するエビデンスは乏しい。今後、在宅医療に関する研究を推進し、全国の研究を牽引しながら学問体系化を図り、教育、普及していくことが求められている。

本寄付講座では、在宅医療を行う医療機関ならびに厚生労働省が設置している全国在宅医療会議、およびその主力メンバーである日本在宅ケアアライアンスのアカデミックグループ、在宅医療に関する学術団体と密に連携しながら在宅医療のエビデンスを構築し、在宅医療の学問体系化を図る。

【 研究内容 】

在宅医療の現状と課題を明らかにし、これらを解決するための研究に取り組む。

- 在宅医療の状況と課題を把握するため、在宅医療を受ける患者を対象とする症例レジストリ研究を実施する。
- 在宅医療における薬物療法の安全性に関する研究を行う。
- 災害時における在宅療養患者の安全確保に関する研究を行う。
- 在宅医療に関する研究基盤組織(プラットフォーム)形成に向けた検討を行い、在宅医療の研究を全国的に推進する。
- 在宅医療に関する卒前・卒後教育を継続して実習の効果を検証する。より効果的な教育プログラムを作成し、全国的に普及するための方策を検討する。

【 今後の展望 】

在宅医療に関するレジストリシステムの構築を目指す。遠隔医療技術、AIおよびロボット介護技術等の研究に取り組み、在宅医療のイノベーションを推進して、在宅医療の新たなあり方を提案する。医学部医学科「地域医療学実習(必修)」の教育を継続し、在宅医療分野における教育モデルの構築を目指す。

【令和4年度活動実績】

<論文・著書>

■ 和文論文

1. 山中 崇. 【POCTの現状と将来展望】生体検査. 日本医師会雑誌 2022;151(7):1209-1212.
2. 山中 崇. 【循環器疾患と在宅医療】【識る】在宅医療にかかわる制度や行政を理解する. Heart

View 2022;26(9):26-31.

3. 山中 崇.【高齢化社会における在宅医療と健康支援】在宅療養者に対するエンド・オブ・ライフケア. 老年科 2022;6(3):172-177.
4. 山中 崇.【高齢者の在宅医療の現状と将来】在宅医療のマネジメント. 老年科 2022;5(6):352-357.
5. 木棚 究, 山中 崇.【CGAアップデート-最近のエビデンス-】Seminar 在宅医療におけるCGAの意義. Geriatric Medicine 2022;60(5):383-386.

■ 英文論文

1. Yamanaka T, Kidana K, Mizuki M, Hattori Y, Hamada S, Akishita M. Sex differences in places of home care. Geriatr Gerontol Int. 2022;22(9):813-814.
2. Yamanaka T, Kidana K, Yamaguchi Y, Hirahara S, Hirakawa Y, Mizuki M, Arai H, Akishita M, Miura H. Palliative home care for older patients with respiratory disease in Japan: Practices and opinions of physicians. Geriatr Gerontol Int 2022;22(11):943-949.
3. Hattori Y, Hamada S, Yamanaka T, Kidana K, Iwagami M, Sakata N, Tamiya N, Kojima T, Ogawa S, Akishita M. Drug prescribing changes in the last year of life among homebound older adults: national retrospective cohort study. BMJ Support Palliat Care 2022;bmjspcare-2022-003639.
4. Hattori Y, Hamada S, Ishizaki T, Sakata N, Iwagami M, Tamiya N, Akishita M, Yamanaka T. National trends in gastrostomy in older adults between 2014 and 2019 in Japan. Geriatr Gerontol Int. 2022;22(8):648-652.
5. Yamaguchi Y, Saif-Ur-Rahman KM, Nomura M, Ohta H, Hirakawa Y, Yamanaka T, Hirahara S, Miura H. Opioid Prescription Method for Breathlessness Due to Non-Cancer Chronic Respiratory Diseases: A Systematic Review. Int J Environ Res Public Health 2022;19(8):4907.

<学会・講演会発表>

■ 国内学会

1. 服部ゆかり, 浜田将太, 山中 崇, 木棚 究, 岩上将夫, 佐方信夫, 田宮菜奈子, 小島太郎, 小川純人, 秋下雅弘. 在宅医療を受ける高齢者の死亡前 1 年間の薬剤処方実態. 第 64 回日本老年医学会学術集会. 大阪 2022. 日老医誌 2022;59(Suppl):100.
2. 松井敏史, 須藤珠水, 永田あかね, 前野聡子, 長島文夫, 木棚 究, 山中 崇. 排泄支援ロボット「ラップポン」の自立支援排泄ケアプランへの組み込み. 第 64 回日本老年医学会学術集会. 大阪 2022. 日老医誌 2022;59(Suppl):138.
3. 松井敏史, 須藤珠水, 永田あかね, 水木麻衣子, 木棚 究, 山中 崇, 長島文夫. 移動支援ロボット「RT-2」の疾患イベント後の在宅使用での 3 次予防効果の検証. 第 64 回日本老年医学会学術集会. 大阪 2022. 日老医誌 2022;59(Suppl):138.
4. 松井敏史, 木棚 究, 山中 崇, 長島文夫. 進化する高齢者リハビリテーション医療の最前線 ロボットによる認知症高齢者の介護支援. 第 64 回日本老年医学会学術集会. 大阪 2022. 日老医誌 2022;59(Suppl):66.

■ 国際学会

1. Yamanaka T, Mizuki M, Kidana K, Yamaga R, Akishita M. Long-Term Home Medical Care: A Comparison between Older Adults Aged <85 years Versus Those Aged ≥85 years. American Academy of Home Care Medicine 2022 Annual Meeting. 2022.10.28-29.
2. Yamanaka T, Mizuki M, Kidana K, Yamaga R, Akishita M. Characteristics of Long-Term Home Care Patients with Dementia. Gerontological Society of America 2022 Annual Scientific Meeting. Indianapolis, IN, USA. 2022.11.3.

<講演会・研究集会>

1. 山中 崇. 「あの坂道でも歩ける！」電動アシスト付き歩行器とは？その活用方法について. Web. 2022.9.21.
2. 山中 崇. 臓器不全 心不全の在宅医療、在宅医療インテグレーター養成講座基礎編. Web. 2022.10.16.

<研究助成>

1. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究 C. 在宅医療を受ける患者の全国的な症例登録システム構築(研究代表者:山中 崇, 分担研究者:木棚 究, 水木麻衣子)2020.4.1-2025.3.31.
2. 文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究 C. 食形態決定のための居家用流動性測定器の開発と誤嚥性肺炎予防プログラムの構築(研究代表者:伏見孝子, 分担研究者:山中 崇ほか) 2021.4.1-2024.3.31.
3. 令和 4 年度厚生労働科学特別研究事業. 災害時や新興感染症拡大時等における在宅医療を提供する医療機関等への支援体制についての調査研究(研究代表者:山中 崇、分担研究者:三浦久幸、山岸暁美、石垣泰則)2022.4.1-2023.3.31.
4. 厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業). 療養場所の違いに応じた認知症者のエンドオブライフケア充実に向けての調査研究—COVID-19 流行の影響も踏まえて—(21GB1001) (研究代表者:三浦久幸, 分担研究者:山中 崇ほか)2021.4.1-2024.3.31.
5. 公益財団法人 勇美記念財団 在宅医療助成. 重度アルツハイマー型認知症に対する抗認知症薬使用の実態調査(研究代表者:木棚 究)2022.4.1-2024.3.31.

<教育活動>

1. 医学部クリニカル・クラークシップⅡ期 地域医療学実習. 2022. 9~11. 2023. 1~3.
2. 山中 崇: 在宅介護、在宅医療・在宅看取り. セグメント5 加齢と老化、臨終. 東京女子医科大学. 2022. 6. 9.
3. 山中 崇: 在宅医療. 地域医療学各論3. 自治医科大学. 2022. 7. 1.
4. 山中 崇: 在宅医療のエビデンスと研究課題, 大学院医学共通講義Ⅹ・生殖・発達・加齢医学専攻(大学院講義), 2023. 2. 21.